



Photos © 2010 by Anna Pomps (UB) and Georg Dreher (BGO).

ウルリッヒ・ベック教授
エリザベート・ベック＝ゲルンスハイム教授
来日記念連続シンポジウム

主催: ベック来日シンポジウム実行委員会
一橋大学大学院社会学研究科 大河内泰樹(東京)
立命館大学産業社会学部 景井充(京都)
企画: ベック来日シンポジウム実行委員会
協賛: 大妻女子大学人間生活文化研究所

Ulrich Beck + Elisabeth Beck-Gernsheim

*Individualizing Japan
and Beyond*

個人化する 日本社会の

ゆくえ —ベック理論の可能性

東京シンポジウム

2010年10月31日 [日] 13:00-

再帰的近代化の中の個人と社会

—社会理論の現在

Social Theory in Reflexive Modernization

一橋大学国立西キャンパス (JR 国立駅下車徒歩 6 分) 兼松講堂 (12:00 開場, 13:00 開会; 17:00 終了)
報告者: ウルリッヒ・ベック / 三上剛史 (神戸大学) / 櫻村愛子 (愛知大学)

参加費: 1,000 円

京都シンポジウム

2010年11月3日 [水・祝] 13:00-

リスクの時代の家族と社会保障

—ベック理論との対話

Family and Social Security in Risk Society

立命館大学朱雀キャンパス (JR・地下鉄二条駅下車徒歩 2 分) 中川会館 4 階 大講義室 (12:00 開場, 13:00 開会; 17:30 終了)
報告者: ウルリッヒ・ベック / エリザベート・ベック＝ゲルンスハイム / 落合恵美子 (京都大学) / 武川正吾 (東京大学)

参加費: 1,000 円

日本社会学会セッション

2010年11月6日 [土] 13:40-

日本と東アジアにおける多元的近代

(日本社会学会第 83 回大会テーマセッション)

13:40-15:40, 16:00-18:00

名古屋大学 (地下鉄名古屋大学駅下車すぐ) 全学教育棟 南棟 3 階 S30 講義室
報告者: ウルリッヒ・ベック / ハン・サン＝ジン (ソウル国立大学) / 油井清光 (神戸大学) ほか 4 名

参加費: 日本社会学会大会への参加費が必要です (<http://www.gakkai.ne.jp/jss/>)

お問い合わせ先:

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500 滋賀県立大学人間文化学部 丸山真央研究室気付 ベック来日シンポジウム実行委員会事務局

E-mail: maruyama.ma@shc.usp.ac.jp URL: <https://sites.google.com/site/becksympo/>